



町立
指江図書館
TEL0996-88-6500



いのちつぐ「みとりびと」シリーズ。大切な人たちに囲まれたあたたかなな取扱によって、いのちのバトンはずっと受けつかれていきます。

「華蓮ちゃんさいごの
家族旅行」
写真・文 國森 康弘

町立
鷹巣図書館
TEL0996-86-1111



としょかんであった犬がおしえてくれた「まちがえたっていいじょうぶだよ」って。外国のとしょかんにじっさいにいる犬たちのお話。

町立図書館おすすめ
図書館においてある本の中から
おすすめのものを選びました。
バラエティに富んだ本を紹介します。

図書館においてある本の中から
おすすめのものを選びました。

バラエティに富んだ本を紹介します。

長島文芸

Nagashima Bungei ながしまぶんげい

長島短歌会



ながしまぶんげい

走り寄り孫に仕へる秋日和
海青く沖の白波鰯雲
秋思かな病室の眼は見送らず

山㟢加代子
坂口 静子
山田 哲夫

創世短歌会

車椅子に乗る人押す人親子らし口づけするごと話
竹之内重信
レジ前に並べる人のカゴの中今夜はこの人麻婆豆腐
宮元 司

納骨堂の湯呑に蓋はかぶせないあなたがいつでも
石原百合子

飲めるかたちに
飯塚百合子

思うことみなはかなくて夜の更を車の過ぐる音の
野村 益信

聞ゆる
村上 義彦

揺られりてもの思いもなきバスの中身の弱るとき
野村 益信

魂も病む
山下 学

峡の田に夕日は淡く及びつつ藁焼く煙立ち上のる見ゆ
大塚 洋子

嫁ぎ来し時より庭にありし横年月を経て老いたり
吾も

山下 学

中島タマエ
坂之下典子

雨止みて凧ぐ海原に黒々と秋に移りし甑島見ゆ
浜田美代子

米尾 和子
米尾 和子

稻架掛けの雨に遭はざる甘き香の稻わら積みぬ染
櫻平 賴子

の高さに
稻葉和也

から逝き吾のみぞ知る銘仙の母の形見に袖通し
海棠の枝に糸瓜の蔓絡み数多の花と若実も搖るる
柳原和子

みる
柳原和子

雨止みて凧ぐ海原に黒々と秋に移りし甑島見ゆ
柳原和子

七十年通り馴れたる沢の道わが老いの影土にしみ
柳原和子

てゐん
柳原和子

明神俳句会

白雲の流れる岬菜を間引く
秋の夜や漁師酔ひたる村酒場
ふかし芋母は戦後を語りだす
不知火や千灯籠の沖明り
病みて知る人のやさしさこぼれ萩
狐火や電報配達深夜2時
秋天や丈越す太鼓打つ女
豊なる長島大陸小菜間引く
虫すだくラ行の音色更けてゆく
秋晴や威風堂々豪華船

淵脇 譲
関 佳代美
白男川孝仁
筑前 初市
大堂 早苗
大堂 光幸
脇田 武志
二階堂 妙子
迫口 君代
正弘

一般作品

〔短歌〕
神無月尽きむとするに鳥たちも声高々とひびき渡
らす

萩の影暮れていよいよ星の空忘れづ咲きて見れる
幸せ
紫尾の湯は肌にジンジン沁み入りて熱さガマンの
百を数える
一雨の降ること覚ゆ冷たさに秋ぞ深まり亡き人恋し
寅さんの背広の色になつてきて旅に出るのかメタ
セコイアも
振返り我れ人生を思い出す手直しするや名を残す
なり
町田 未則
母木 良平